

部長	次長	課長	主幹	補佐	副主幹	係長	担当	起案	起案：令和 年 月 日
									決裁：令和 年 月 日
									発送：令和 年 月 日
									完結：令和 年 月 日

会 議 録

- 1. 会議名：令和元年度第1回木更津市防災会議
- 2. 開催日時：令和元年8月28日（水）午後2時15分～3時00分
- 3. 開催場所：木更津市役所駅前庁舎8階 防災室・会議室
- 4. 出欠状況：出席36名、欠席3名（出席者氏名は別添のとおり）
- 5. 傍聴人数：0人
- 6. 会議資料：次第参照
- 7. 会議内容：以下のとおり

（司会 危機管理課 大岩）

定刻前ではございますが、本日出席予定の皆さまお揃いでございますので、ただ今より令和元年度第1回木更津市防災会議を開催したいと思います。私は、議事に入るまでの間、進行役を務めさせていただきます木更津市総務部危機管理課の大岩でございます。どうぞよろしくお願いいたします。会議開催に伴い、配布資料の確認をさせていただきたいと思います。まず、本日の「次第」でございます。資料1として「木更津市地域防災計画改訂の概要」、資料2として「新旧対照表」、資料3として「地域防災計画本文の改訂部分の抜粋」、その他参考資料として木更津市防災会議委員名簿、席次票、木更津市防災会議条例、木更津市防災会議運営要項を配布させていただいております。足りないもの等ございませんでしょうか。無いようでございますので、ただ今より、木更津市防災会議委員委嘱状交付を行います。

今年度の6月議会にて木更津市防災会議条例を改正し、防災会議委員の定数を35名から40名へ変更したこと、また委員の変更等に伴いまして、今回の会議から4名の方に新たに参加いただいております。また組織内の変更等で、2名の委員の変更がありましたので、会議開催に先立ちまして、委嘱状の交付をさせていただきたいと存じます。

市長から委嘱状を交付させていただきますので、名前を呼ばれたら、その場でご起立願います。

— 委嘱状交付 —

（司会）

以上、委嘱状を交付させていただきました。

本日新たに6名の委員の方にご出席いただきましたが、お一人ずつ自己紹介も含めて一言いただければと思います。まず、銚子地方気象台竹内次長から一言お願いいたします。

(銚子地方気象台 次長 竹内氏)

銚子地方気象台の竹内と申します。この度は木更津市防災会議委員に委嘱されましたのでよろしくお願いいたします。気象台では、色々と防災関係のことをやっておりますし、特に地域防災計画につきましては、こちらからも支援をしたいと考えております。よろしくお願いいたします。

(司会)

ありがとうございます。それでは続きまして、一般社団法人君津木更津歯科医師会副会長の古谷様からお願いいたします。

(一般社団法人君津木更津歯科医師会副会長 古谷氏)

皆さんこんにちは。君津木更津歯科医師会の古谷と申します。初めてのことで、これから勉強させていただきながら、この役目を務めて参ろうと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。

(司会)

ありがとうございます。続きまして木更津市農業協同組合総務部長の白井様よりお願いいたします。

(木更津市農業協同組合総務部長 白井氏)

木更津市農協の白井と申します。今回よりお世話になりますので、よろしくお願いいたします。地元の農協といたしまして、地域の皆さまに貢献できるようこれから頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(司会)

ありがとうございます。続きましてかずさ水道広域連合企業団技師長の渡邊様よりお願いいたします。

(かずさ水道広域連合企業団技師長 渡邊氏)

かずさ水道広域連合企業団の渡邊です。かずさ広域連合企業団とは、旧君津広域水道企業団の用水供給事業と木更津市、君津市、袖ヶ浦市、富津市の4市の水道事業を統合いたしましたので、この4月より運用を行っている企業団でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

(司会)

ありがとうございます。続きまして、木更津市消防団機能別分団女性部長の森様お願

いたします。

(木更津市消防団機能別分団女性部長 森氏)

木更津市女性消防団部長の森と申します。女性目線の意見が出来ればと参加させていただきました。よろしくお願いいたします。

(司会)

ありがとうございます。続きまして、公益社団法人千葉県獣医師会かずさ地域獣医師会会長佐藤様お願いいたします。

(公益社団法人千葉県獣医師会かずさ地域獣医師会会長 佐藤氏)

かずさ地域の獣医師会の会長の佐藤と申します。初めてのことで、どのような形で協力できるか模索しながら、試行錯誤を重ねて行きたいと思います。よろしくお願いいたします。

(司会)

ありがとうございました。本日配布した資料に委員名簿を添えてございますので、改めてご確認いただけますようお願い申し上げます。続きまして、事務局を紹介させていただきます。木更津市総務部 次長の伊藤でございます。

(事務局：総務部次長 伊藤)

総務部次長の伊藤です。よろしくお願いいたします。

(司会)

木更津市総務部危機管理課 課長の関口でございます。

(事務局：危機管理課長 関口)

課長の関口です。よろしくお願いいたします。

(司会)

防災計画係 米澤 でございます。

(事務局：危機管理課 米澤)

米澤です。よろしくお願いいたします。

(司会)

引き続き、令和元年度木更津市防災会議を開会いたします。開会にあたり、本会議の会長であります、木更津市長 渡辺 芳邦 よりご挨拶申し上げます。市長よろしくお願ひします。

(木更津市長 渡辺 芳邦)

皆様、こんにちは。木更津市 防災会議の会長を務めます、市長の渡辺でございます。開催に先立ち、一言ご挨拶申し上げます。本日、皆様方には、大変お忙しい中、木更津市 防災会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃から、本市の防災行政はもとより、市政各般にわたり、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、本会議は、地域防災計画の作成や 実施の推進、また、防災に関する重要事項の審議や 各機関との連絡調整、さらに、非常災害における緊急措置の計画や 実施の推進を図るために設置するものでございます。

皆様 ご承知のとおり、最近は数十年に一度と言われるような大災害が、毎年、日本各地で起こっております。本地域においても、首都直下型地震が想定され、いつ大規模災害に襲われてもおかしくない状況でございます。市では、こうした不足の事態に対し、関係機関や市民の皆様と連携・協力し、迅速かつ的確に災害への対応ができるよう万全の体制の準備を進めているところでございます。

今回は、木更津市 業務継続計画の策定による勤務時間外の初動体制の見直し、また、平成30年7月の豪雨に伴う 防災重点 ため池の 再選定等について 木更津市 地域防災計画の修正を行い、非常時に被害を最小限にとどめることができるような計画を策定したいと考えております。

この後、事務局より「地域防災計画（案）について」の ご説明をさせていただきますが、委員の皆様方には、それぞれの見地から、忌憚のないご意見をいただきますとともに、本市の防災力向上へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

(司会)

ありがとうございました。それでは、議事に入らせていただきます。これからの進行につきましては、木更津市防災会議運営要綱第2条の規定に「会長が議長となる」となっておりますので、会長である渡辺市長に議長の職をお願いいたします。それでは市長、お願いいたします。

(議長)

それでは、これから議長を務めさせていただきます。着座にて失礼いたします。

お手元の資料によりまして議事を進めさせていただきます。

なお、本日の議案につきましては、事務局からの説明と説明に対する質疑応答とさせていただきますのでご了承くださいようお願いを申し上げます。

それでは、議案第1号の木更津市地域防災計画案について上程いたします。事務局より説明をお願いいたします。

(事務局)

それでは、事務局から今回の防災会議に提案させていただきました木更津市地域防災計画（案）について、資料に基づきましてご説明させていただきます。今年の3月に皆さまにご協力いただきまして、市の防災計画につきましては、大きく改訂をさせていただきました。その後に、本日資料でお配りしております、木更津市業務継続計画の作成を行いました。災害時に人や物が制限される中、優先すべき事項等を各課で取りまとめた計画をこの6月に作成しました。今回の修正の内容につきましては、その中で休日等の勤務時間外に大きな地震が起きた場合に市の体制を改めたいといった内容になっております。修正内容については、市の内部の体制のお話がほとんどでございます。委員の皆さまに置かれましては、そのことにつきましてご意見をいただければと思います。

それでは新旧対照表が資料2にございますので、これを見ながらお話を聞いていただければと思います。従前、勤務時間外に大規模な災害が起きた場合に危機管理課部門や施設を管理するセクションの職員についてはその施設に行き、その他の職員については、最寄りの公民館に行くといった形で計画を作っておりました。それを公民館のみならず、全ての避難所、木更津市内では全部で52箇所予定しておりますが、避難所にそれぞれ職員が参集して、改めて施設の安全点検を同時にしたいと考えております。今までは、公民館に対して数名の職員から数十名の職員の割り当てになっていたということが実情でございました。それを避難所毎に職員が3名行き、その避難所を点検し、その他の職員については、担当課等の場所に向かうという体制に改めたいと考えております。それによって、一度、事務所に来ていただき、災害の情報を集めて、必要な人材を必要な箇所に割り振りをしようと考えております。

続きまして、次のページになります。今回、新たに防災重点ため池の内容を追加させていただきました。昨年の西日本豪雨の際に防災重点ため池でないため池が決壊したことを受け、防災重点ため池が再選定されたことに伴い、木更津市では5箇所、防災重点ため池に選定されました。その内容を地域防災計画に追加したものとなります。

次の修正内容ですが、火葬場の名称を正式名称にさせていただくものでございます。正式名称としまして、「木更津市火葬場」と改め、場所も明記させていただくといった内容でございます。

また、今回、木更津市災害用井戸の要綱を資料にも添付させていただいております。資料3をご覧ください。一般の方が持っている井戸を登録していただきまして、災害時

に災害用の井戸として使用したいというような趣旨でございます。市内で200箇所以上井戸がありますが、その井戸を登録していただき、ご承諾を経て、地域の方のために使わせていただきたいと考えております。その制度の要綱を作りまして、地域防災計画内の資料編に掲載したいと考えております。

また、先ほど申し上げた木更津市業務継続計画でございますが、別添資料を添付しております。災害時に優先すべき業務と一般の業務を分けて、市の対応をどのようにしたら良いか。災害時、物や人が制約される中で、市民の皆さまが有益で必要なサービスを受けられるような体制を構築するために、木更津市業務継続計画を作成いたしました。今回の地域防災計画の改訂につきましても、市民の方により良いサービスが提供できるように時間外の体制を改めたいと考えております。

また、今回、避難所の箇所の見直しをしております。新しく避難所として入っている箇所が、資料2新旧対照表4ページ以降をご覧ください。指定避難所となるところ又は、地震や津波、洪水など状況に応じて使用できるか否かをHPでも公表させていただいておりますが、改めて整理させていただきました。例えば、「金田地域交流センター」のところも今回新しく実情に合わせて記載させていただいております。また、「道の駅木更津 うまくたの里」につきましても、新しく避難場所として記載させていただきました。

以上が今回の改訂概要になります。ご審議の程、よろしくお願いいたします。皆様には忌憚無くご意見をいただければと思っております。

(議長)

それでは、事務局からの説明が終わりましたので、防災計画(案)についてご質疑等ございましたらぜひお願いしたいと思います。この度の修正自体が業務継続計画に合わせた職員の初動体制がメインになってきているが、そのような点も含めてお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

(木更津海上保安署 坂本氏)

木更津海上保安署でも、勤務時間外の初動体制としまして、夜間や公休日であった場合でも震度5以上があった場合は、直ちに海上保安署へ参集するようになっております。

例えば、車や公共交通機関が使えない場合を想定して、年に一回、徒歩や自転車を利用しての訓練を行い、予め休みの人間の中でも非常参集する人間を指定して、ある程度行動の制限をかけています。今後、このような訓練や職員の指定等を行う予定があるのでしょうか。

(事務局)

貴重なご意見ありがとうございます。本市においても、実際に参集する訓練もぜひや

りたいと考えているところでございます。

(議長)

10月6日の防災訓練についても、将来的には地域主催の防災訓練をやりたいということで進めているが、その時も職員自体が全員配置通りに避難所に向けてそれぞれ3名程度参集する訓練をやっていきたいと考えています。他にいかがでしょうか。

(木更津警察署)

資料3の頭の(5)のところに、県非常参集職員の派遣受け入れと記載されているが、木更津警察署も各自治体との情報共有が重要であると考えていて、それぞれの自治体に連絡交換員を派遣しようというような体制と、そういった役割分担等の取り決めを行っているところでございます。そういった受け入れや情報共有の方もぜひ今後お願いしたいと思っています。

(事務局)

本市としても、各行政機関、各団体様には災害時に連携をお願いしたいと考えておりますので、情報共有の体制の構築についても皆様にご協力をお願いしたいと考えております。よろしくお願いいたします。

(赤十字奉仕団委員長 高橋氏)

今回、市の方針で地区と同時に市の防災訓練を行うこととなっているが、赤十字奉仕団は分団に分かれて、今までは市の防災訓練には炊き出しという形で参加させていただいておりました。同時開催となると、自分たちの地区で日頃から訓練を行っている地区があるが、分団によって防災訓練に対する考えが異なり、各分団から意見が出ている状況です。今回、市が同時開催ということを打ち出して、赤十字奉仕団の会議時にまず、地区の防災訓練に参加すると言い出した分団長がいます。そうすると今まで奉仕団として活動していた体制が崩れていくような考えになっている。だからといって、地区の防災訓練を放り出して市の防災訓練に協力していただきたいというのは、私も言いかねている。そのところをどのように考えていけば良いか、ご教示いただきたい。

(事務局)

市の防災訓練については、今年度から10月の第一日曜日に固定し、来年度以降は、10月第1日曜日には、防災訓練の日と市民の皆さんに認識していただき、防災に関して、関心を持っていただきたいと考えています。今のお話のように防災の取組をそれぞれしていただいているものがあると思います。各団体様の実情がもちろんあります。出来れば、市の防災訓練にご協力をお願いしたいが、各団体様が積み上げてきた活動があ

と思います。そういったものも加味して、今年ですぐ変えるのではなく、地域の取組と市全体で行う取組が一緒に、時には個別にという風にこれ続けることによって、より良いものにしていければと考えている。市の防災訓練に協力していただくというものが大前提ではありませんので、その趣旨をご理解いただき、市の防災は皆さんで作って参りたいと考えています。ご協力をお願いしたいと考えています。

(赤十字奉仕団委員長 高橋氏)

この前、赤十字奉仕団の役員会議の時に、そういう意見が突然出たもので、これから私としましては、調整しながらやっていかないといけないと思いました。せっかくの機会なので、赤十字奉仕団もこのような流れが出てきたと皆さんに報告させていただきました。地区も大事ですし、市の方も大事ですし、どちらかに出られる人を意見によって振り分けようと考えている。

(議長)

基本的に各地区については、参集訓練と避難所の運営訓練を全地域に行っていただきたいというのが一つの方向であるが、市全体の防災訓練という各機関との連携の訓練がメインになってきますので、そういうことを考慮していただいて調整していただきたいと思っています。全市一斉に災害を受けたときの各地区の避難所運営が大切になってきますので、ご理解・ご協力をいただきたいと思っている。

— 委員から挙手等なし —

本日は、改訂したことへの説明でありますので、またそれぞれ防災計画を見直していただき、ご質問・ご意見等ございましたら対応してまいりたいと思いますので、事務局までご連絡をお願いしたいと思います。それでは、ご意見も無いということでございますので、お諮りをさせていただきたいと思います。この議案第1号について木更津市地域防災計画の改定ということでございますが、ご異議ございませんでしょうか。

— うなずき等による異議無しの表明あり —

よろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。

ご異議が無いようでございますので原案通りご承認とさせていただきます。この案を持って木更津市地域防災計画を改訂させていただきたいと思います。

本日の議案につきましては1件でございますが、その他といたしまして、この際でございますので、何なりと皆様から地域の防災についてのご意見等あれば、ご発言いただきたいと思っています。

(木更津商工会議所常議員 鵜田氏)

津波避難ビルの中で、龍宮城が5階からとなっているが、4階まで津波が来る想定であるのか。

(事務局)

津波避難ビルの指定については、ビルの場所から想定される津波の高さに加味して指定をしております。参考までに木更津市内での津波の想定高さは3 m 以下です。

(木更津港湾事務所長 大村氏)

千葉県ホームページで最大の津波の高さを公表しているが、東京湾内湾につきましては、高潮の方が高い想定です。津波については、高いところでも約2 m程度となります。最悪の事態を想定した津波を公表していますので、ぜひご確認いただきたい。

(議長)

他に何かございますでしょうか。

(赤十字奉仕団委員長 高橋氏)

矢那川の川幅が年々広がっている。土砂が堆積して氾濫する可能性があるので砂を取り除くことが出来ないか。

(君津土木事務所長 山本氏)

おっしゃるとおり、土砂が堆積しているところがある。草刈等は毎年行っているが、土砂については、予算の確保が難しいところもあるが、多く溜まっている箇所から対応していきたいと考えている。

(議長)

他にいかがでしょうか。その他事務局何かありますでしょうか。

(事務局)

事務局から2点お話をさせていただきます。今回配布させていただいた委員の名簿をご覧いただければと思います。今回、条例で昨今の災害、災害後の様々な問題、例えばペットの問題である等様々な方からのご意見をいただきたいということで、防災会議の委員の増員させていただきました。今現在で39人の委員をお願いしているところでございます。今後、内容によっては、専門的な分野の委員にご意見を伺うような場を設けて、

様々なご意見を伺いたいと考えております。もう一点は、先ほど木更津市の防災訓練のお話がありましたので、実情を報告させていただきたいと思います。市の防災訓練につきましては、3年前から地域の方に参加していただく防災訓練を実施しています。昨年度から、市全域で参加していただくような防災訓練にしたいという思いから10月第1日曜日を防災訓練の日と設定をしました。その中で、公民館に行くある職員が公民館の鍵を持っている状況です。その方が行かないと鍵が開かない状況です。今年度からはどなたが行っても鍵を開けられるようにダイヤル式のキーボックスを各避難所に設置し、職員が3名行き、鍵を開けて、施設の安全点検をし、避難所が開設可能か判断をするように改めたいと考えております。そのようなことも含めて10月6日に訓練を実施したいと考えています。市内の地域の方にお声をかけさせていただき、現在7地区（清見台、岩根東、岩根西、鎌足、波岡、桜井、畑沢地区）に参加表明をいただいているところです。その地区については、訓練内容も含めて検討いただき、避難所を開設して運用していただくということになります。ぜひとも関係の皆様にもご協力をいただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

（議長）

皆様ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。それでは無いようでございますので、本日の防災会議は終了とさせていただきます。皆様方におかれましてはお忙しい中ご参加いただきましたことを改めて感謝申し上げます。ご協力ありがとうございました。

（司会）

ありがとうございました。

以上をもちまして、令和元年度木更津市防災会議を閉会いたします。

本日はありがとうございました。